



2025年1月22日

報道関係者各位

慶應義塾大学

## 慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館）が 改正博物館法の定める「登録博物館」として新規登録されました

慶應義塾大学アート・センターは、1993年に開設された大学附属の研究センターです。本センターは特定の分野や思想、理論体系にかたよることなく、総合大学の特徴を活かした領域横断性、すなわちさまざまな学問分野の成果を総合する立場から、現代社会における芸術活動の役割をテーマに、理論研究と実践活動をひろく展開しています。アート・センターは2013年に東京都教育委員会に申請し、旧博物館法のもと「博物館相当施設」に指定されました。この度、博物館法の改正を受け、改めて「登録博物館」として東京都教育委員会に申請し、審査の結果、2024年12月23日付で「登録博物館」として新規登録されました。今後も大学の博物館として、国内外の芸術研究の進展に寄与してまいります。

### 1. 登録までの経緯

慶應義塾大学アート・センターは、1993年に開設された大学附属の研究センターです。

2011年に現在の所在地である三田キャンパス南別館に移転し、同館1階に専用展示施設「アート・スペース」を開室しました。さらに、2013年に東京都教育委員会に申請し、旧博物館法のもと「博物館相当施設」に指定されました。博物館法において、学芸員資格取得のために必要な単位のうち博物館実習に関しては、登録博物館または相当施設における実習により習得することが明記されています。これまでアート・センターは博物館相当施設として学生の学芸員資格取得を支えてきました。

2022年4月「博物館法の一部を改正する法律」が公布され、2023年4月から施行されました。約70年振りの単独での法改正となり、博物館の登録要件についても見直しがありました。旧博物館法においては、学校法人が設置する博物館は、相当施設としての申請しか認められませんでした。改正博物館法において、学校法人の博物館も新たに登録博物館となることが認められました。

この度の法改正を受け、慶應義塾大学アート・センターは改めて「登録博物館」として東京都教育委員会に申請し、審査の結果、2024年12月23日付で「登録博物館」として新規登録されました。

今後もアート・スペースでの展覧会の開催、研究アーカイヴの構築と運用、学内収蔵品の調査・研究、博物館実習をはじめとする大学および一貫教育校を対象とした教育活動、地域との連携などに取り組み、国内外の芸術研究の進展に寄与してまいります。

## 2. 慶應義塾大学アート・センター

本センターは特定の分野や思想、理論体系にかたよることなく、総合大学の特徴を活かした領域横断性、すなわちさまざまな学問分野の成果を総合する立場から、現代社会における芸術活動の役割をテーマに、理論研究と実践活動をひろく展開しています。

私たちの日常をふりかえっても明らかなように、今日ほど情報が多様化し、感性や価値観が著しく変容しつつある時代はほかにはないでしょう。対立し矛盾する思想や実践同士が共存し、ときに融和すらしてしまう現実、場合によっては私たちの通念や常識をはるかに超えています。

アート・センターは、既成の学問の狭い枠に閉じこもることなく、そうした多様で多価値な新しい時代にふさわしい文化的・芸術的感性の醸成と表現活動の可能性とを追究し、撥刺とした文化環境の創出に寄与することを目的としています。

### 基本理念

#### 人間形成

新しい文化的・芸術的感性の醸成と、成熟した社会にふさわしい柔軟な価値観の創出、そして創造的な人格の形成をめざします。

#### トランス・アート

現代芸術は個別のジャンルに閉じこもることなく、さまざまな領域にまたがるコラボレーション(協働活動)を展開しています。芸術活動の歴史や伝統を視野におきつつ、トランス(横断的)・アートにみられる交流や「場」の革新性を究明し、未来にむけた芸術理念の構築を試みます。

#### 芸術関連情報

現代の文化環境では、情報の多様化がときとして感性を無表情にしがちです。関連領域も視野におさめつつ、内実の豊かな芸術情報の収集と提供、受信と発信を試みます。また、文化に関する情報が本来もつべき役割と意義を検討し、公共財やアーカイヴなどについて新しい提案を行います。

#### オープン・フォーラム

現代における知識や経験の獲得は、情報メディア空間を舞台とする「対話」や、身体空間の共有にもとづく「ワークショップ」など新しい「場」を抜きにしては考えられません。学内外、国内国外は言うまでもなく、多くの関連諸機関や団体、個人と交流し、協同プロジェクトなどの開かれたフォーラムを通じて研究・教育・実践活動を推進してゆきます。

## 事業の概要

### 芸術関連の講演・ワークショップ・展示などの企画・開催

文化的・芸術的感性の醸成をめざすアート・センターの催しは、上演を伴う講演、領域横断的なシンポジウム、詩人と異分野アーティストとの共演、身体表現系のワークショップ、インスタレーションを含む展示など、多様性と先端性が特色です。そのほとんどが学生に開放され、参加費無料を原則としています。また、小学校から高校までの塾内一貫教育校の生徒を対象としたワークショップなどを通じて世代横断的活動を実現するとともに、教職員、卒業生、さらには地域の住民や一般市民に対しても広く参加を呼びかけています。

### 慶應義塾大学アート・スペースの運営

慶應義塾大学南別館 1 階の展示専用スペース「慶應義塾大学アート・スペース」（2011 年 9 月開設）で開催する展覧会を企画・運営しています。

### アーカイヴの構築

現代芸術および慶應義塾所管の文化財に関するアーカイヴを構築しています。資料の静態的分類・整理作業にとどまらず、芸術における創造プロセス解明を目指す「ジェネティック・アーカイヴ」、特定の主題に関する研究成果（二次資料）を収集・蓄積する「研究アーカイヴ」を基本的な理念として、アーカイヴの構築と運用を行っています。

### 芸術関連の調査および研究の企画ならびに実施

所員やキュレーターが中心となり、外部の専門家の協力を仰ぎながら、特定のテーマについて長期あるいは短期の研究集会を開催し、その成果をシンポジウムや出版の形で発表しています。

### 慶應義塾の文化財管理

慶應義塾が所管する美術品や建築物の調査、またそれらの補修に関する助言や指導を行っています。

### 出版広報活動

事業報告を中心とした『年報』、テーマ特集形式の紀要『Booklet』（年 1 回）、ニュース・レターの『ARTLET』（年 2 回）を刊行しています。ほかに、研究会の成果を小規模の冊子にまとめたり、展示やシンポジウムの折りに、図録や資料集も随時刊行したりしています。



アート・スペースでの展示風景  
(撮影：株式会社カロワークス)



アーカイヴ収蔵庫



屋外彫刻メンテナンス

### 3. アクセス

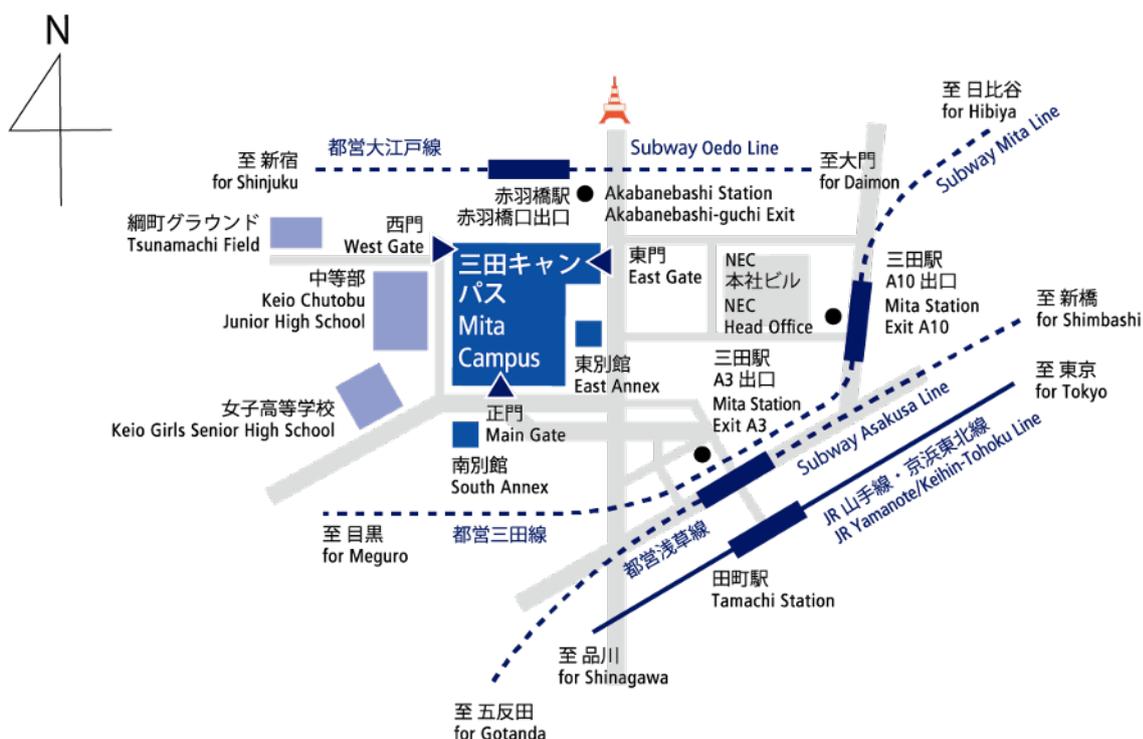
慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館 1 階アート・スペース）

住 所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

交通アクセス：田 町 駅（JR 山手線／JR 京浜東北線）徒歩 8 分

三 田 駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩 7 分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 8 分



※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社教育部、文化部等に送信させていただきます。

・お問い合わせ先

慶應義塾大学アート・センター

TEL : 03-5427-1621 FAX : 03-5427-1620 E-mail : ac-office@art-c.keio.ac.jp

・本リリースの配信元

慶應義塾広報室（担当：寺西）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

E-mail : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>